

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月28日

北海道運輸局

協議会名: JR花咲線調査・実証事業協議会

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)	評価結果	
JR花咲線 調査・実証 事業協議 会	1. 公共交通利用実態調査の実施 ・JR花咲線沿線自治体居住者800人(18歳以上・高校生除く)を対象とした公共交通の利用実態に関する調査表を送付した。230人から回答があり、花咲線の日常的な利用(週2日以上)が0.4%などの結果が出た。 ・JR花咲線沿線自治体高校生215人に学校を通じて、公共交通の利用実態に関する調査表を配布した。33人から回答があり、通学時間が平均85分であることなど通学実態を把握することができた。	A	・アンケート調査の結果をもとに、今後の利用促進等の取組や事業展開を検討。		
	2. 鉄道・バス共通時刻表制作・配布 ・鉄道とバス時刻が一目でわかる時刻表を作成した。 ・A3で4275枚、ポスターサイズで115枚作成し、駅、パスターミナル、沿線高校、自治体等に配布、掲出すると主にアンケート対象者に配布した。	A	・バスの時刻が季節で変更になることもあり、継続して正しい時刻表を提供できる仕組みづくりが課題。		
	3. 地球探索鉄道花咲線増結と景色の良い海側に指定席導入 ・8/1～9/30の2か月間に午前1往復、午後1往復で40形テーブル付き車両を増結し2両運行を実施。 ・午前1往復の増結した車両の海側BOX席に指定席を導入し、指定席料金530円で発売した。 ・案内要員を指定席車内に配置し、調査表を配布し、502人から回収した。うち229件を無作為抽出し分析した。 ・一人旅が69%、2人が14%と少人数が多かった。 ・満足+まあ満足78%。 ・指定席発売目標9席/便→結果釧路発13.8席/便、根室発11.0席/便 ・乗車目標+5人/便→指定席導入車両+1.6/便(2往復平均では+1.1人/便)	A	・一定の効果があることが確認された。1人又は2人が多かったため、2人掛け席での指定席導入を検討。		
	4. 落石駅～根室駅バス実証運行 ・7:20落石発、13:00根室発(水曜日のみ)、16:00根室発の根室高校や病院で乗降できるバスを実証運行。 ・約20名の列車通学高校生はほぼ全員バス利用に転移した。 ・復路高校生は分散。土休日利用低調。 ・目標平日平均30人/日→結果(夏休み除く)7月21.0人、8月23.8人、9月22.5人	A	・通学生の利便性が向上したため、継続的な取組を検討。 ・ご利用の少ない便や土休日の運転日や運転時刻等見直し検討。		
	5. サイクルトレイン実証運行 ・8/27にH100形ラッピング車両2両で団体臨時列車で東釧路駅～浜中駅間運行。 ・上級者・初級者にコースを分けてモニターツアーとして実施。 ・目標22人→結果18人 1両あたりの最大積み込み数11台を目標としたため、わずかに達成していない。	A	・自立化に向けて費用を抑えるなど実施方法の検討。		